

# 中学校 第1学年 美術科学習指導案

学習指導者 高松市立香南中学校 金丸 高士

## 1 単元名「工芸 一花器一」

### 2 単元計画(総時数5時間【本時1/5】)

- 試作品の制作一形についての見方・考え方一(1時間)
- 作品の制作一形についての見方・考え方一(2時間)
- 作品の制作一色についての見方・考え方一(2時間)

### 3 授業の見どころ

本題材の造形的な視点「形、色」をそれぞれの作品制作過程で押さえながら授業を進めていく。本時では抽象的な「形」を生み出していくための自分なりの造形的な視点を持てるように、作品のための試作品づくりを行う。自身の制作で得た気づきや、他者の制作物を通して造形的な視点を深めていく。

### 4 本時の学習指導

#### (1) 目標

美術の創造活動の喜びを味わい、用途や機能と美しさの調和を考えて、表現の構想を練る。

#### (2) 学習指導過程

学習活動と生徒の意識	教師の指導
1. 古典的な作品を鑑賞し、学習課題を知る。 ・機能や効率を考えると、同じような形に収斂していくことを知る。	○ スライドで作品を提示し、いつの時代につくられたものかを押さえて、形に着目させる。
<b>学習課題</b> : 野草を引き立てる、自分だけの美しい形をつくろう。	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>指導の重点項目</b>                      2. 参考作品を鑑賞し、「平面、曲面」の組み合わせで無限のバリエーションが生まれることを知る。                      ・エッジを取ると、やわらかいイメージになることを知る。                      ・エッジをつくることで形が引き締まることを知る。                      ・抽象的な形をつくる時の考え方について知る。                 </div>	○ 模型を幾つか提示しながら、制作のイメージを持てるように助言する。 ○ スチロールの特性や、立方体を切断したり削ったりしてつくることなどを意識しながら、鑑賞するように促す。 ○ 抽象的な形をつくる時の考え方の例を助言する。
3. 花器の模型を発砲スチロールでつくる。 (1)条件を確認する。 ①安定して自立する形状である。 ②平面と曲面、エッジの有無を意識して構成している。 ③美しい形である。 (2)条件をふまえながら、花器を制作する。 ・のこぎりで切断したり、やすりで削ったりしながら成形していく。 (3)造花を生ける。 ・作品のどこに口をつくるかを考えて、造花を花器にさしながら位置を決める。	○ 生活の中で実際に使う作品であることを理解させ、制作の条件を示す。 ○ 自分だけの美しい形を目指す意識を持たせる。 ○ のこぎりやすりの使い方について、手本を示しながら説明する。 ○ なかなか制作に入れない生徒には、参考作品を見て、いいと思う形を探すように促し、そこをヒントにして制作するように助言する。
4 全員の作品を並べて鑑賞し、学習のまとめをする。 ・他者の制作した多様な形を鑑賞することで、自分がよさや美しさを感じる形をみつけて、意見を交換する。 ・次時で、他者の作品のよさを自分の作品に取り入れたり、違いを強調したりするなど、更に発想を膨らませる。	○ 自分がよさや美しさを感じる形を探しながら鑑賞するように促す。 ○ 他者がよさや美しさを感じる形について、よく意見を聞き鑑賞するように促す。 ○ これからの学習の流れを説明し、意欲を高める声掛けをする。